

診療実績・臨床評価指標

項目	令和2年度 数値	令和3年度 数値	令和4年度 数値	令和5年度 数値	令和6年度 数値	単位	定義	説明
【入院】								
稼働病床数	323	323	323	323	323	床		実際に使用している入院ベッドの数
延べ患者数	92,105	93,148	95,694	97,470	99,429	人	期間内の日毎の入院患者数合計	1年間の入院された患者の累計
新入院患者数	8,294	8,660	8,772	9,497	10,033	人	入院毎にカウントする患者数 (同一疾病での再入院を含む)	1年間で新規に入院された患者の数
診療科別入院患者数(別紙1)	/	/	/	/	/	/	各診療科別の入院患者数	1年間で各診療科での入院された患者の数
1日平均入院患者数推移(別紙2)	/	/	/	/	/	/	のべ入院患者数/365	1日平均の入院患者数を示す
退院患者数	8,277	8,675	8,752	9,523	9,994	人	退院毎にカウントする患者数	1年間の退院された患者の累計
診療科別退院患者数(別紙3)	/	/	/	/	/	/	各診療科別の退院患者数	1年間で各診療科での退院された患者の数
疾患別退院患者数(別紙4)	/	/	/	/	/	/	疾病分類での退院患者数	主にどのような疾患での退院があるかを示す
DPC件数	7,650	8,546	8,139	8,973	9,491	件	DPCでの対象患者の件数	1年間のDPC対象患者の件数
平均在院日数	11.1	10.8	10.9	10.2	9.9	日	のべ患者数/(新入院患者数+退院患者数)÷2	1人の患者が平均何日間入院しているかを示す
病床利用率	78.1	79.0	81.2	82.4	84.3	%	のべ入院患者数÷(稼働病床数×診療実日数)	どのくらいの割合で入院していたかを示す
平均在院日数・新入院患者数・病床利用率推移(別紙5)	/	/	/	/	/	/		病床利用率が高ければベッドを効率的に運用していることを示し、平均在院日数と新入院数との推移を示す
褥瘡発生率	0.53	0.44	0.53	0.50	0.58	%	院内褥瘡発生数/入院のべ患者数×1000	褥瘡対策チームが中心となり、治療・ケアをして発生防止に努め、看護ケアの質評価の重要な指標になる
死亡退院率(別紙6)	/	/	/	/	/	/		
退院後6週間以内の緊急再入院率	4.08	4.85	3.85	3.96	4.04	%	退院後6週間以内の緊急入院患者数/退院患者数	入院中に患者が十分な治療を受けて退院することができているかの検討指標
【外来】								
新外来患者数	13,525	14,374	14,926	15,516	15,511	人	初診料を算定した外来患者数+他科の初診患者数	1年間の新規の外来患者の数
のべ外来患者数	142,650	143,913	145,874	149,038	151,393	人	初診料と外来診療料を算定したのべ患者数	1年間の外来受診された患者の累計
1日平均外来患者数推移(別紙7)	/	/	/	/	/	/	のべ外来患者数/365	1日平均の外来患者数を示す
救急外来統計(別紙8)	/	/	/	/	/	/		救急医療は重点医療の一つであり、休日・全夜間の診療を引き続き実施し、積極的な患者受け入れに努める
【手術】								
施設基準に掲げる手術件数	846	1,067	1,016	1,081	1,147	件	医科点数表第2表第10部手術の通則5及び6に掲げる手術の件数	難易度及び診療報酬上の点数単価が高い手術で1年間に実施した件数
全身麻酔件数(再掲・硬膜外麻酔併用)	1,154 (22)	1,128 (101)	1,382 (86)	1,626 (93)	1,706 (83)	件	手術室利用件数	
脊椎麻酔(再掲・硬膜外麻酔併用)	569 (33)	485 (47)	762 (50)	735 (38)	785 (54)	件		
硬膜外麻酔	116	123	139	112	168	件		
緊急手術件数	379	305	425	449	440	件		
内視鏡検査件数(別紙9)	6,198	6,931	6,857	6,616	6,744	件	検査数 (1)上部内視鏡 (2)膵臓・胆管系 (3)気管支鏡 (4)下部内視鏡	内視鏡検査で①食道・胃などの上部 ②膵臓・胆管③気管支 ④大腸などの下部を示す
【その他】								
救急車搬送件数	2,415	2,782	2,981	3,249	3,333	件	救急患者のうち、来院方法が「救急車」、「ドクターヘリ」の患者数	1年間の救急車で搬送された件数
小児準夜センター統計(別紙10)	/	/	/	/	/	/	諫早市こども準夜センターでの受診患者数(午後8時～午後11時まで、3時間受付)	地域における救急医療体制を整え、日常の病診連携も進み、当院小児科医にとっても過重労働の軽減になる
がん登録件数	1,074	1,125	1,147	1,181	1,194	件	「院内がん登録標準登録様式」における部位登録数、ステージ別・治療方法別件数	当院で行なっている「院内がん登録」の登録実績、がん医療に力をいれて取り組んでいる
部位別件数(別紙11)	/	/	/	/	/	/		
地域別件数(別紙12)	/	/	/	/	/	/		
紹介率・逆紹介率推移(別紙13)	/	/	/	/	/	/	地域医療支援病院の紹介率 ⇒ 紹介患者数/初診患者数×100 逆紹介率 ⇒ 逆紹介患者数/初診患者数×100 地域医療支援病院に指定されており、要件にもなっている。今後も地域医療の連携に努める。	
剖検率	4.09	0.46	0.86	1.26	1.20	%	剖検数/死亡退院患者数×100	病理解剖は、亡くなられた患者様の死因を究明し、今後の医療に役立てていくためにも大切であり、臨床研修病院の研修上の観点からも大切である
大腿骨頭部骨折連携バスの使用率	45.27	51.8	52.7	51.9	44.9	%	期間中に医療資源を最も投入した傷病名が大腿骨頭部骨折で退院した症例のうち、「地域連携診療計画加算」が算定された症例の割合を集計	大腿骨頭部骨折の患者に継続的な医療を提供するため連携バスが作成され、どのくらいの患者が対象となっているかの指標する上で連携レベルを評価する
【部門別】								
外来化学療法件数	2,378	2,384	2,459	3,002	2,857	件	外来で化学療法を実施した件数(外来化学療法加算)	抗がん剤を使用した化学療法の件数
放射線療法件数	206	222	202	200	208	件	放射線治療件数	
CT撮影件数	15,608	16,448	17,407	18,615	19,655	件	期間中ののべ実施件数	
MRI撮影件数	4,844	5,061	5,209	5,362	5,804	件	期間中ののべ実施件数	
超音波検査	5,053	5,250	5,212	5,585	5,678	件	期間中ののべ実施件数	
IVR件数(カテーテル・血管内治療)	645	699	559	474	514	件	期間中の実施件数	
検査件数(別紙14)	/	/	/	/	/	/	検体・細菌・病理・生理機能件数	
心大血管疾患リハビリテーション実患者数	302	334	296	284	309	件	期間中の実患者数	
脳血管疾患リハビリテーション実患者数	301	353	279	334	444	件	期間中の実患者数	
運動血管疾患リハビリテーション実患者数	591	518	769	836	867	件	期間中の実患者数	
呼吸器疾患リハビリテーション実患者数	228	263	366	419	473	件	期間中の実患者数	
肺血栓塞栓予防管理料件数	1,086	1,010	1,283	1,728	3,346	件	期間中の実施件数	
薬剤管理指導料件数	10,279	9,253	10,015	9,761	9,506	件	期間中の実施件数	
麻薬管理指導料件数	309	254	307	201	135	件	期間中の実施件数	